



全ての児童の学力の定着に向けて

校長 かとう けんじ
加藤 憲司

学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。夏休みには、自分の興味のあることや、新しいことに挑戦するなど、日頃できないことを経験した子もいたのではないのでしょうか。また、子供たちのために、ラジオ体操や、盆踊りなど様々な催しを行っていただくなど、地域の皆様にこの場を借りて、感謝申し上げます。

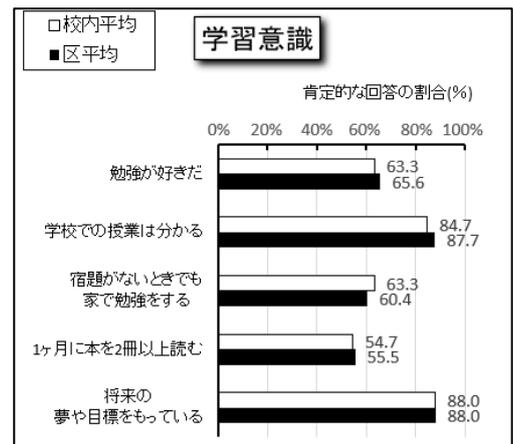
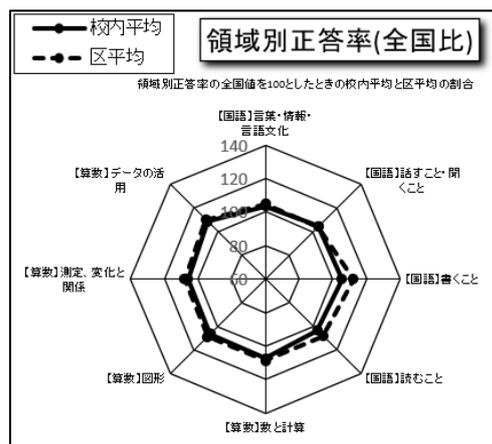
日中は、まだまだ厳しい暑さが続いていますので、熱中症等にも十分に注意をしながら、学校を運営してまいります。引き続き、保護者や地域の皆様には学校の教育活動への御理解と御協力をお願いします。

「足立区学力定着に関する総合調査」の本校の結果と今後の対策

4月12日に、2年生から6年生を対象に実施した「足立区学力定着に関する総合調査」の本校の結果と今後の対策がまとまりましたので、お知らせします。9月4日の保護者会全体会でも具体的に説明を行います。

まず、国語と算数の領域別の正答率は、概ね、区平均と同等ですが、国語の「書くこと」「読むこと」が区平均を下回っており、全学年で同様の傾向がありました。

児童の学習意識のアンケートからは、「宿題がないときでも家で勉強をする」以外は、区平均を下回っていました。特に、「学校での授業が分かる」は、区平均を3ポイント下回っており、一層の教員の授業改善が必要であると考えております。その他、表にはありませんが、「学校に行くのが楽しい」は、肯定的な回答をした児童の割合は88.1%で、区平均と同等の割合でした。足立小のスローガンである「期待の登校・満足の下校」を充実していくために、約12%の否定的な回答をした子供が、「学校に行くのが楽しい」と思えるようにしていくことが必要であり、今後も、家庭・地域と連携していくことが重要であると考えています。



児童の学習意識のアンケートからは、「宿題がないときでも家で勉強をする」以外は、区平均を下回っていました。特に、「学校での授業が分かる」は、区平均を3ポイント下回っており、一層の教員の授業改善が必要であると考えております。その他、表にはありませんが、「学校に行くのが楽しい」は、肯定的な回答をした児童の割合は88.1%で、区平均と同等の割合でした。足立小のスローガンである「期待の登校・満足の下校」を充実していくために、約12%の否定的な回答をした子供が、「学校に行くのが楽しい」と思えるようにしていくことが必要であり、今後も、家庭・地域と連携していくことが重要であると考えています。

<各学年における国語、算数の通過率>

※通過率:目標となる値以上の正答があった児童の割合

	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数										
通過率(今年度)	81.7	78.9	74.1	81.5	75.0	81.0	84.7	81.3	87.5	77.1	85.1	74.5
通過率(昨年度)	83.8	84.2	80.5	87.8	91.5	90.4	89.8	87.8	81.8	78.8	74.7	76.8

国語では、4~6年生の通過率が80%を超え、特に6年生は大きく上昇しているものの、2年生と3年生の通過率は80%を下回っています。算数では、2~4年生の通過率は80%を超えているものの、5~6年生の通過率は80%を下回っています。学校全体の「通過率」は、国語・算数いずれも昨年度を下回っていました。

今後、「分かる授業」を全ての教員が行えるよう、「足立スタンダード」を基盤とした授業の定着と、ICT機器を積極的に活用するとともに、特に、課題である「書くこと」「読むこと」の領域の力を付けていくために、日々の授業において自分の言葉で振り返りを書く活動を取り入れるなど、学校全体で取り組んでいきます。